

ちとせ 市議会だより

No.201

令和5年

第3回(9月)

定例会

目次

- 定例会のあらまし、各委員会の活動状況 … 2～4ページ
- 一般質問 …… 5～11ページ
- 決算特別委員会質疑 …… 12～14ページ
- 議決結果 …… 15ページ
- 議会事務局からのお知らせ等 …… 16ページ



定

例会のあらまし

●令和4年度各会計決算を認定

令和5年第3回定例会は、9月19日から10月13日までの25日間の会期で開催されました。

この定例会では、令和5年度各会計補正予算、条例の制定など、報告11件、議案8件、意見書4件が提出されたほか、令和4年度一般会計、6特別会計および3事業会計の歳入歳出決算の認定10件が提出されました。

このうち、令和5年度補正予算の議案2件は、13人の委員で構成する補正予算特別委員会を設置し、審査を付託しました。

また、認定10件については、20人の委員で構成する決算特別委員会を設置し、審査を付託したほか、即決を必要とする議案以外については、関係する常任委員会に審査を付託しました。

その結果、各議案等については、継続審査とした1件を除き、原案のとおり可決・認定・同意しました。

今定例会の主な議案の内容は、次のとおりです。

令和5年度補正予算

◆一般会計補正予算（第5回）

歳入歳出予算の総額に

3億5千645万2千円

を追加

●主な内容

・次世代半導体拠点推進事業費 145万4千円

・在宅福祉センター管理委託事業費 6万9千円

・介護サービス提供基盤整備事業費 1千190万1千円

・地域型保育施設電気料金高騰対策事業費 86万円

・不妊治療費等助成事業費 846万円

・葬斎場管理運営業務経費 30万7千円

・持続的畑作生産体系確立緊急支援事業費 5千100万7千円

・麦・大豆生産技術向上事業費 616万1千円

・輸出対応施設等整備事業費 1億4千615万円

・道路維持管理業務経費 8千707万円

・除排雪事業費 1千920万6千円

・グリーンベルト地下駐車場維持管理経費 82万2千円

・小学校改修事業費 679万円

・中学校改修事業費 814万8千円

・市民文化センター・市民ギヤラリー施設管理経費 623万3千円

・スポーツ施設管理業務経費 181万4千円

◆介護保険特別会計補正予算（第1回）

歳入歳出予算の総額に

6千527万2千円

を追加

●主な内容

・介護給付費準備基金積立金 2千188万5千円

・国庫支出金等精算返還金 4千338万7千円

条例

◆千歳市学校給食費条例

学校給食法第4条の規定に基づき学校給食の実施及び学校給食費の管理に関し必要な事項を定めるために制定。

◆千歳市火災予防条例の一部を改正する条例

対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の規定の一部改正に伴い、蓄電池設備等の位置、構造及び管理の基準に所要の改正を行い、並びに個体燃料を用いた厨房設備の離隔距離を定めるために制定。

人事

次の件に同意

◎教育委員会委員に

新井 由紀恵さん(再任)

その他

◆住居表示の実施区域及び住

居表示の方法

○実施の区域

北信濃の一部

○住居表示の方法

街区方式

◆市道路線の認定

あずさ西土地区画整理事業

及び開発行為により、

09・26東41号道路を認定。

○起点 9線中通

○終点 09・26南52号道路

09・26東42号道路を含む14

件を認定。

◆市道路線の変更

道路整備及び開発行為によ

り、美々第1道路の起点、美々

西通の終点、北信濃新中通の

終点を変更。

美々第1道路を変更。

変更前

○起点 美々駒里線

変更後

○起点 美々西通

美々西通を変更。

変更前

○終点 美々758番57地先

変更後

○終点 美々駒里線

北信濃新中通を変更

変更前

○終点 9線中通

変更後

○終点 道道島松千歳線

◆公立大学法人公立千歳科学

技術大学定款の一部変更

公立大学法人公立千歳科学

技術大学定款の一部を変更す

るため、地方独立行政法人法

第8条第2項の規定に基づく

議会の議決を要する協議。

意見書

第3回定例会において、議

員提案された意見書4件を原

案可決しました。

◆国土強靱化に資する道路の

整備等に関する意見書

◆JR長都駅前への交番の設

置を求める意見書

◆特別支援学校・学級等への

教員等の適切な配置を求める

意見書

◆千歳市協和地区における産

業廃棄物最終処分場建設に反

対する意見書

千歳市協和地区における産業廃棄物最終処分場建設に反対する意見書を北海道に提出しました



濱坂真一北海道副知事(右から3人目)に意見書を手渡しました。



富原亮北海道議会議長(右から3人目)に意見書を手渡しました。

令和5年10月31日、千歳市議会(坂野議長ほか4名)は、協和地区で計画されている産業廃棄物最終処分場建設に反対する意見書を、処分場設置の許可権者である北海道に提出しました。また、引き続き、北海道議会議長に意見書を手渡しました。

産業廃棄物最終処分場の予定地は、千歳市協和の山林で、周辺は農地が多く作物への影響や風評被害が懸念されることから地元住民は計画に反対しており、千歳市協和地区への産業廃棄物最終処分場の建設に断固反対するとともに、条例および要領に基づき、厳正に手続きおよび審査を行うよう強く求めました。

各委員会の活動状況

8月～10月に開かれた各委員会の活動状況をお知らせします。



**総務文教
常任委員会**

▼9月13日(水) 13時

令和4年度行政評価結果の概要など、11件の所管事務調査を報告済みとした。また、令和5年度行政視察について協議した。

▼9月20日(水) 13時

千歳市火災予防条例の一部を改正する条例の制定についてなど、第3回定例会付託議案2件を原案可決とし、千歳市学校給食費条例の制定については継続審査とした。

▼10月2日(月) 11時

日米共同訓練における発生事案についての所管事務調査を報告済みとした。



**厚生環境
常任委員会**

▼8月23日(水) 13時

(仮称)大和地区コミュニティセンター整備についてなど、2件の所管事務調査を報告済みとした。

▼9月14日(木) 11時

令和5年度千歳市一般会計補正予算(案)の概要など、10件の所管事務調査を報告済みとし、JR長都駅前への交番設置を求めることについての意見書提出を決定した。また、令和5年度の行政視察について協議した。



**産業建設
常任委員会**

▼9月13日(水) 11時

令和5年度千歳市一般会計補正予算(案)の概要についてなど、10件の所管事務調査を報告済みとした。また、令和5年度行政視察について協議した。

▼9月20日(水) 13時

住居表示の実施区域及び住居表示の方法についてなど、第3回定例会付託議案2件を原案可決とした。



**議会運営
委員会**

▼8月30日(水) 13時

議会改革について協議した。

▼9月19日(火) 11時

第3回定例会の議事運営について決定し、意見書の提出および議会改革について協議した。

▼9月26日(火) 11時

第3回定例会2日目の議事運営について決定し、意見書の提出および議会改革について協議した。

▼10月11日(水)

決算特別委員会終了後意見書の提出について協議した。

▼10月12日(木)

決算特別委員会終了後第3回定例会最終日の議事運営について決定し、議会改革について協議した。

行政視察を受け入れています

千歳市議会では、全国各地の市町村議会から、本年度これまでに72件の行政視察を受け入れました。そのうち、「議会改革」をテーマに5市が来庁し、大山委員長(議会運営委員会)と吉谷副委員長が「市民の声を聴く会」や「中学校との交流学習会」などの取り組みについて説明し、意見交換を行いました。

他市では議会報告会やこども議会などの事例はあるが、「市民の声を聴く会」や「中学校との交流学習会」のように、市民と議員が直接、市政(施策)について意見交換したり、中学校に赴いて議会について説明し、中学生と交流を図るなどの取り組みはとても参考になるとのことでした。

- ◎ 7月13日 栃木県下野市議会
- ◎ 7月18日 岡山県笠岡市議会
- ◎ 8月8日 茨城県結城市議会
- ◎ 11月16日 千葉県富里市議会
- ◎ 11月17日 千葉県千葉市議会

議会改革の取組について

市民の声を聴く会の開催状況について

- 平成24年度 65名 開催日: 8月30日(金) 千歳市総合福祉センター
- 平成25年度 68名 開催日: 2月27日(金) 千歳市文化交流センター
- 平成27年度 53名 開催日: 5月13日(水) 千歳市文化交流センター
- 平成28年度 43名 開催日: 5月17日(水) 千歳市総合福祉センター(22名)
- 平成29年度 34名 開催日: 2月13日(水) 千歳市総合福祉センター
- 平成30年度 27名 開催日: 2月12日(水) 千歳市総合福祉センター
- 令和元年度 13名 開催日: 9月18日(水) 千歳市総合福祉センター

総務文教常任委員会・厚生環境常任委員会



交流学習会の開催状況について

- 高野中学校 (18年度)
- 千歳市立2月12日(交流学習会)4校(4校) 総務文教
- 北郷中学校 (17年度)
- 千歳市立2月12日(交流学習会) 総務文教
- 千歳市立2月12日(交流学習会)4校(4校) 総務文教
- 高小中学校 (14年度)
- 千歳市立2月12日(交流学習会)4校(4校) 総務文教
- 北郷中学校 (15年度) 総務文教
- 千歳市立2月12日(交流学習会) 総務文教
- 高小中学校 (15年度) 総務文教
- 千歳市立2月12日(交流学習会)4校(4校) 総務文教
- 北郷中学校 (15年度) 総務文教
- 千歳市立2月12日(交流学習会) 総務文教

問 道路交通法が一部改正され、全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となった。努力義務であるため、着用しなくても違反とはならないが、事故の際に命を守る手段として、ヘルメットは重要な役割を果たす。自転

自転車ヘルメット
購入費の補助



公明党議員団
平川 美由紀 議員

答 市長 道内の一部の町村では、補助制度があり、その導入理由について確認したところ、小学生から自転車通学を行っているため、ヘルメットの着用を義務付けていることから、購入費を補助しているとのことであった。市は、自転車の安全利用を促進するために、交通ルールや

車ヘルメットの着用率アップに向けた取り組みとして、市民の皆さんがより安心して自転車に乗ることができるよう、自転車ヘルメットの購入にあたり、補助金制度を設けてはどうか。

問 早期発見に有効な、骨粗しょう症検診の受診率は全国的に低い。骨粗しょう症の患者

骨粗しょう症検診
受診率向上の取り組み

マナーの遵守について、周知・啓発し、それを実践に繋げることが重要と考えていることから、現時点では、購入費を補助することは考えていないが、今後のヘルメット着用率の状況や、国や北海道の財政支援の在り方、他の取り組みについて、注視していく。

答 市長 ①本市の検診受診率は令和3年度4・4%、4年度4・2%となっている。全国の令和3年度受診率は、5・3%であり、本市は全国と比較し0・9%低い。②本市が実施している受診率の向上の取り組みは、電話によ

り、軽い転倒やくしゃみなどでも骨折しやすく、特に女性は閉経後の女性ホルモンの減少による影響が大きく、患者数は多くなっている。①千歳市の骨粗しょう症検診の受診率と、②受診率の向上に必要な周知に向けた取り組みを伺う。

る受診勧奨、市内医療機関でのポスター掲示などを行っているが、今後さらに、女性を対象とした集団健診においての周知、女性健康週間に合わせた周知啓発などについて検討していく。また、がん検診などの受診勧奨を行う際に、対象者となる方に骨粗しょう症検診の案内を同封していく。受診率向上に向けては、検診実施可能な医療機関の増加や受診枠数の拡大などの課題があることから、今後も千歳医師会と協議し取り組んでいく。

る受診勧奨、市内医療機関でのポスター掲示などを行っているが、今後さらに、女性を対象とした集団健診においての周知、女性健康週間に合わせた周知啓発などについて検討していく。また、がん検診などの受診勧奨を行う際に、対象者となる方に骨粗しょう症検診の案内を同封していく。受診率向上に向けては、検診実施可能な医療機関の増加や受診枠数の拡大などの課題があることから、今後も千歳医師会と協議し取り組んでいく。

市政 を 問う!!

今定例会では、9月27日、28日、29日、10月2日の4日間、各会派等からの一般質問が行われました。

これらの質問の中から、主なものを掲載します。

なお、質問議員の会派および氏名は、次のとおりです。

一般質問議員

- ☆公明党議員団
平川 美由紀 議員
仲山 正人 議員
- ☆日本共産党
吉谷 徹 議員
- ☆日本維新の会・新党大地
丸岡 伸幸 議員
- ☆無所属
落野 章一 議員
松隈 早織 議員
相沢 晶子 議員
- ☆自民党議員会
安部 優雅 議員
渡部 謙太郎 議員
北原 偉男 議員
岩満 順郎 議員
飯田 盛好 議員
佐々木 雅宏 議員



← 一般質問の様子は、市HPからご覧いただけます。



公明党議員団
仲山 正人 議員

ラピダス社の進出 による交通渋滞対策

問 今年2月、ラピダス社の立地が決定し、工場建設規模が示される中、市民より朝夕の通勤時間帯の交通渋滞への懸念の声をいただいた。交通渋滞対策は、市民生活を守るためにも重要であり、事業者・道・市との強い連携が必要で

ある。そこで、①来年の建設作業関係車両ピーク時における対応、②交通渋滞対策として早急な交通インフラ整備が必要と考えるが、所見を伺う。
答 市長 ①北海道と鹿島建設において、交差点の交通量調査を実施している。この現況交通量に、ピーク時の工事車両数を加算した交差点交通量について、検証を進め、渋滞対策会議でよく確認するとともに、国、北海道及び鹿島建設と連携を図りながら、円滑な道路通行の確保に向け、取り組みを進めていく。②市道美々西通を延長し、市道

美々駒里線へアクセスする道路の実施設計を進めている。また、将来的な計画として、千歳美々ワールドから新たにJR千歳線を跨ぎ、国道36号へアクセスする道路について、国、北海道などと協議を進めており、引き続き、必要な交通インフラ整備に取り組んでいく。

小中学校への エアコン設置

問 今夏は、過去に経験のない非常に暑い夏となり、エアコン設備のない小中学校での授業は、児童生徒、教職員に

とつて大変に厳しい環境であったことが想像される。学校施設は子どもたちの学習、生活の場であり、安心・安全が求められる。近年の夏季の気温上昇は命に危険を感じる状況もあり、①早期に普通教室だけでもエアコン設置を進める必要があるが、所見を伺う。②全ての小中学校へエアコンを設置する際の費用はどの程度なのか伺う。

答 教育長 ①暑さにより授業に集中できない状態を解消することや、夏季休業中も勤務する教職員の職場環境を改善することも大変重要

であり、可能な限り早期に、エアコンを整備する必要があると考えている。②普通教室にエアコンを整備する場合、13億円を超える想定していたが、人件費や物価高騰などから、あらためて普通教室と職員室にエアコンを整備する場合の概算経費を積算しているところである。普通教室等へのエアコン整備は、財源確保が大きな課題となるため、防衛省や文部科学省の補助制度を活用した効果的な整備手法などの調査を進め、整備に向け、市長部局とよく協議していく。



日本共産党
吉谷 徹 議員

ラピダス社が製造する 半導体の用途

問 2ナノ規格の半導体、現状だと何に使うのかはつきりとしているものではないため、製造ができてみきちんと売れるのか、何年かけて売れるのかといった販売も不明瞭であるし、不明部分が多いからこそ軍事産業へ用いら

れるようなことがあるならそれは避けていただきたい。そこで、2ナノ規格の半導体は将来何に用いるのか。想定される買い手の詳細とアメリカ等の軍事産業も顧客と想定しているのかを伺う。
答 市長 はじめに個別企業の営業戦略に関わる事項のため、詳細をお答えすることはできないことを前提として答弁する。ラピダス社が製造した半導体の用途は、今後、デジタル社会の進展に伴い、自動運転、人口知能AI、ロボット、量子コンピュータなどの活用が拡大する一方、これ

に伴うエネルギー消費量の増大が課題となっており、低消費電力かつ高性能な次世代半導体が必要不可欠となっている。ラピダス社においてもこれらの分野の顧客を想定しているものと認識しているが、2025年の試作ライン、2027年の量産ラインの稼働に向けて、今後調整されていくものと承知している。

食料支援活動団体 への対応

問 団体に対し、保健福祉部の職員が訪問等されていない点について、一度も訪問等

の現場や活動を確認せず、連携が取れるのだろうかと思ふと疑問である。そこで、こうした団体に対して市の言う連携とは具体的にどういう対象を指すのか。詳細や市の担当部署や職員がこれまでに該当団体へ赴かなかつた理由について伺う。

答 市長 市では、フードバンクに対する支援として、令和2年から災害応急対策備蓄品のうち、消費期限の近くなつた食料を定期的に提供しているほか、市内の企業から申し出のあつた食料品をフードバンクや子ども食堂へつなぐ

など、側面的な取り組みにより、支援及び連携を図っている。市内には多くのボランティア活動団体があり、それらの団体に対して、活動内容を把握するために、市の職員の訪問等は行っていないが、団体から相談などがあつた場合には、引き続き、丁寧な対応をしていく。なお、私は、市長就任以来、さまざまな団体等の活動を見学させていただく機会を設けているが、食料支援活動をされている団体などについても、今後、訪問させていたきたいと考えている。

問 弱視は乳幼児期に遠視や乱視、目の病気のために視力の発達が遅れ、眼鏡をかけてもよく見えない状態になってしまう病気で、患者は50人に1人という推計もある。早期に見つけて治療すれば、視力の発達が見込めるが、検査は

目の屈折検査の実施



無所属
落野 章一 議員

難しく3歳児健診では、ほとんどが見逃されてきたが、近年、簡単に弱視の検査ができる機器が開発され、国は、昨年度から検査機器の購入費の半額を助成するようになった。①市は、3歳児健診で目の屈折検査を行っているか。②屈折検査の新たな機器を購入したか何う。

答 市長 ①3歳児健診の健診項目は母子保健法施行規則により定められており、屈折検査は必須検査とはされていないが、本市は、千歳医師会との協議により、令和3年度から屈折検査の導入を開始

問 Jアラート（全国瞬時警報システム）による緊急避難施設には爆風に耐えられる頑丈な公共施設や地下街、鉄道の駅などの地下施設が指定されている。国民保護法では、都道府県や政令市に対し弾道

緊急一時避難施設の指定

し、視力検査と併用することで、遠視や近視などの屈折異常や、斜視の早期発見に努めている。②令和3年度から屈折検査を実施するために、令和2年度秋に検査機器を1台購入している。

答 市長 イオン千歳店のほか、休暇村支笏湖が北海道の指定を受けており、北海道は、令和7年度末までを集中的な取組期間として、緊急一時避

難施設の指定を進めていくこととしていることから、今後、市民間施設を含む、緊急一時避難施設は増えていくものと考えている。
総務部長 休暇村支笏湖の収容可能面積は500㎡であり、北海道の指定基準である100㎡以上コンクリート造り等の要件を満たしており、このような要件を満たす商業施設は、市内には他にもある。北海道と連携し、施設の追加について、市も協力していきたいと考えている。

問 路線バスを運行するバス会社が、新学期始まって間もなくの4月25日に始発からストライキを行い、終日運休となり、利用する市民約1500人に影響があった。同社は不正整備や不法投棄をしていたことに加え、昨年1億円を

バス会社への補助金



日本維新の会・新党大地
丸岡 伸幸 議員

答 市長 本市の路線バス補助金は、要綱に基づき、バス事業者に対し、運賃収入などの経常収入の実績と、人件費や燃料費などの経常経費の実績を差し引いた、運行に係る赤字分を補助するものである。申請内容については、交通に関する専門家や弁護士、会計士の学識経験者のほか、経済団体代表、関係行政機関

問 財政的に困難、予算的に無理という前に、市として経費節減や無駄な補助金の廃止等を行い「身を切る改革」で財源を生み出すべきと考える。物価高対策で家計を支援し、子育て世代の教育費軽減のためにも、①給食費を無償

給食費の無償化と教室へのエアコン設置

で構成する千歳市路線バス補助金審議会において審査した上で交付しており、補助金は適切なものと考えている。今後、これまでと同様に要綱に基づき適正に交付していく。

答 教育長 給食費は、法律で定められている受益者負担の観点や援助が必要な家庭には援助していること、また、無償化するための恒久的な財源が必要であることから、市独自に無償化を実施することは難しいと考えている。給食費の一部公費負担は、国の臨時交付金などを活用し、令和4年度および5年度は、臨時的に市から一部補助を行って

いるが、6年度以降は、市長部局とも協議しながら、よく検討していく。②小中学校25校にエアコンを整備するには、多額の事業費に加え、一定の期間が必要のため、暑さ対策の緊急性などを踏まえ、段階的な対策として、普通教室等へのスポットエアコンの設置なども検討することにも、実際のエアコン整備については、財源が大きな課題となることから、防衛省や文部科学省の補助制度を活用した効果的な整備手法などの調査を進め、整備に向け、市長部局とよく協議していく。



無所属
松隈 早織 議員

定住施策の拡充

問 次世代半導体工場の千歳市への進出に伴い、道内他市町村等が、いかに人材を確保するか、さまざまな策を講じている。本市も今すぐに人材育成、人材の奪い合いに参戦し、ターゲットを絞った定住促進を進めてほしいと考

えるが、以下3点について伺う。①半導体工場・関連企業の人材確保のため、市独自の奨学金返還支援制度を創設してはどうか。②半導体工場立地による市内住宅不足により、千歳市離れが進む恐れがあるため、千歳市内の大学に通う学生への家賃を補助してはどうか。③北海道大学が窓口となり、他校と連携して人材育成と半導体研究を始めると同っているが、千歳科学技術大学においても、半導体関係の学部やカリキュラムの充実を図ってはどうか。

答 市長 ①本市は令和2年度から「さつぽろ連携中枢都市圏」が実施する「奨学金返還支援事業」に参画し、大学や専修学校などを卒業してさつぽろ圏に居住し、対象となる中小企業等に就職する場合、奨学金の返済額の一部を最大3年間、54万円を限度に支援する取り組みを実施している。この支援制度は、広域で取り組むことで利用者の選択肢が広がることや、他市町村の独自支援制度と比べても金額等が充実していることに加え、市内の登録事業者数も徐々に増えてきていることな

どから、本制度を活用した支援を継続していくとともに、登録事業者数の増加に向け、働きかけを行っていく。②大學生に対する家賃支援により、定住を促進することの効果をはじめ、基準の設定や財源の確保など課題が多いと考えている。市内の大学において、学生寮の完備や、独自の給付型や貸与型奨学金制度を設けるなどのさまざまな対応が図られていることから、市として、定住促進のための大學生に対する家賃支援を行うことは考えていない。③千歳科学技術大学では、半導体等

を研究する選任教員の確保と、大学院の新カリキュラムの編成に取り組んでいる。また、学部においては、すでに「半導体基礎」、「半導体デバイス工学」などの科目を設け、半導体関連企業への就職が内定している学生もいる。今後、地域産業の動向や求められる具体的な人材を見極め、次世代の技術などの進展に応じ、必要となるカリキュラムについて検討を行う。市は半導体関連産業の集積が見込まれることから、千歳科学技術大学と連携し、人材育成に積極的に取り組んでいく。



無所属
相沢 晶子 議員

PFASとラピダス社がもたらす影響

問 ラピダス社の進出は、さまざまな課題が取り上げられている。法律で使用が禁じられ、ラピダス社でも使用しない二種類のPFAS(4700種を超える有機フッ素化合物の総称)について監視をするとのことだが、①

ラピダス社は、その他のPFASの使用はするのか。②ラピダス社が全量回収している「危険なPFAS」とは、どのPFASを指すのか。

答 市長 ①ラピダス社の半導体工場は、化学物質排出把握管理促進法による事業者に該当し、経済産業省のホームページにより、化学物質の種類や排出量、移動量を公表すると想定していることから、市では、ラピダス社が使用するPFOSやPFOAに代わる物質を把握する考えはない。②市では、ラピダ

ス社の半導体工場で使用するPFASを把握していないが、PFASに限らず、人の健康や生態系に有害な恐れがある化学物質を使用する場合は、化学物質排出把握管理促進法に基づき適切に扱われるものと考えている。

新規型コロナワクチン接種券と副反応への対応

問 XBB型対応ワクチンの接種が始まっている。コロナワクチンは、1291種類の有害事象を製造会社が認めているワクチンでもあり、①特に子どもへの接種券の

新型コロナウイルス接種券と副反応への対応

一律送付はやめてもらいたい

が、市の見解を伺う。②市内では、予防接種健康被害救済制度の申請が4件あり、その内訳は10代、20代の方と聞いているが、救済はされたのか。また、その後回復はしているのか。③副反応疑い報告をしている15人についての回復状況について伺う。

答 市長 ①令和5年秋開始の接種券の送付は、前回接種から3か月以上経過し、手元に接種券がない方に送付しており、6か月から11歳の子どもについても同様に行う。なお、新たに6か月になる乳

児への初回接種は、6か月になる月の前月に、案内を送付し、自己申請に基づいて接種券を送付している。②予防接種健康被害救済制度の申請のあった4件の審査結果は出ていない。また、申請者の現在の健康状態等は、本市では把握していない。③市では、国から報告内容の情報提供を受けているが、対象者のその後の症状については、把握していない。

その他質問
・自衛官の募集について

問 ①第2期千歳市子ども子育て支援事業計画における、保育士等の人材確保の方策について、現在までの取組内容と事業効果について伺う。②大型企業の進出に伴い、国内のみならず海外からの市内転入の増加も予想される

保育士等の確保方策と子育て支援次期計画



自民党議員会
渡部 謙太郎 議員

答 市長 ①令和2年10月に無料職業紹介所を開設し、市内保育施設で働きたい方と雇用したい施設のマッチングを行ってきた。これまで3年間に50人が市内保育施設に就職が決定するなど、着実に成果を挙げてきたと考えている。本市としては、国の動向を注視しつつ、更なる処遇改善を図るため、地域の実情を踏ま

答 市長 ①令和7年開始の第3期事業計画には、居宅訪問型保育など海外の文化・風習を考慮した子育て支援も次期計画に盛り込むべきと考えるが市の見解を伺う。

児童館・学童クラブへのエアコン設置

え十分な財政措置を講ずること、潜在保育士などへの呼びかけも含め保育士等の確保方策に強化を図る。②あらゆる状況を想定し、外国人居住者の転入増加を見越した新たなサービスなど、子育て支援の在り方についても検討を進めていくが、居宅訪問型保育などの具体的な取り組みについては、実効性や他市における先行事例などを踏まえ、よく調査・研究した上で計画への反映を考えていく。

問 子ども達が放課後や休日、特に、夏休み期間中に一番多くの時間を過ごす場所として児童館・学童クラブがあるが、現状エアコンの設置がほぼなく、子ども達が熱中症の危険を避け安心安全に過ごせる状態にないと考える。多くの子ども達の居場所である市内の児童館、学童クラブのエアコンの設置を、早期に実施する必要があると考えるが市の見解を伺う。

その他の質問
・熱中症警戒アラート時の対応

答 市長 児童館・学童クラブは、一部の施設を除きエアコンの設置がされていないが、児童や職員の体調面を考

問 児童館・学童クラブへのエアコン設置

慮し、エアコンを設置していない施設には、今年8月上旬に移動式スポットクーラーを各1台設置し、館内の温度等のこまめな確認、水分補給や冷却材の活用などの熱中症対策を行い、来館する児童の体調に十分注意を払うことで開館したところである。児童館・学童クラブへのエアコン設置については、現在、早期設置に向け具体的な検討を進めている。

問 地域包括ケアシステムの構築には、本人の意思を尊重する必要はある。厚労省では、もしもの時に本人が望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組みのACP「人

問 地域包括ケアシステムの構築には、本人の意思を尊重する必要はある。厚労省では、もしもの時に本人が望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組みのACP「人

地域包括ケアシステムの取組状況



自民党議員会
安部 優雅 議員

問 地域包括ケアシステムの構築には、本人の意思を尊重する必要はある。厚労省では、もしもの時に本人が望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組みのACP「人

答 市長 「人生会議」は要支援・要介護高齢者の場合には、ケアプランを作成する際のアセスメント時に、本人や家族の意向確認を行い、関係者で情報を共有し、本人や家族の希望に沿った支援を行っている。本市では、本年度から在宅医療・介護連携支援センターで実施している連携力レτζジで、人生会議について、専門職を対象にどのよ

うに関わり、連携していくのかを学ぶ研修を実施している。また、人生会議は、終活の一部であることから、平成29年度以降、終活をテーマとした講演会やシンポジウムを開催しており、今後も終活に関する市民への周知・啓発は継続していく考えであり、その内容については、地域包括支援センターなどの現場の意見を聞きながら検討していく。

介護DXの活用

問 介護業界において、各機

関との情報共有や介護予防、人材不足の課題解決等にICTの活用が有効と考えるが、介護DXを進めるにあたり、事業所や現場で働く方、関係部署への理解促進、活用推進のために具体的にどのような取り組みでいくのか伺う。

答 市長 介護DXの活用は、北海道が実施する介護ロボット導入支援事業費補助金を活用し、介護事業所が導入できるよう支援していくが、DXの導入が進まない事業所もあることから、導入に向けた研修会を本年度中に

開催する予定としている。また、令和6年度から8年度の計画である第9期介護保険事業計画策定に向け、厚生労働省から示された第9期介護保険事業計画の基本方針案では、新たに介護現場の生産性向上が挙げられていることから、介護現場の生産性向上を目指した、介護DXの推進について計画に位置付けることを検討するとともに、導入が進まない事業所に対する研修会・勉強会などを継続して実施していく。



暑さ指数の活用

問 職場によっては、暑さ指数の状況を色付きの旗などを掲揚し、職員に伝え、行動制限を促したり、市内中学校ではWBG T指数計測計を購入し、校内を測定し、教員や生徒に伝え熱中症予防を行っている事例もある。暑さ

指数は、熱中症対策のために活用することが重要と考えられているが、その暑さ指数の活用について2点伺う。①市が独自に暑さ指数を測定する予定はないのか。②暑さ指数を市民にどのような手段、方法で伝えようとしているのか。

答 市長 ①暑さ指数を算出するには、気温、湿度などの気象観測が不可欠となるが、気象観測等を行い、公表する場合は、誤った観測データがもたらす社会的混乱を防ぐため、観測方法等は、気象業務法に定められており、技術上の基準に従って観測を行

うこと、気象観測施設の設置届出を行うことや検定に合格した観測機器を使用することが求められている。暑さ指数の測定は、厳密な気象観測と運用管理を行った上で、観測された気象データを専門的に計算し、速やかに公表することが必要であることから、市が独自に暑さ指数を公表することは難しい。②市は、国が示す健康被害の防止に有用な情報として、市ホームページへの常時掲載や広報紙への記事掲載、さらに警戒すべき事象が生じた場合の対応として、SNSなどの

多様な媒体の活用を図るなど、周知に努めていく。

問 臨時休業時における情報提供

答 教育長 教育委員会では、気象災害等に伴う小中学校の臨時休業の決定時には、関係機関に情報提供しており、主な連絡先として、全小中学校、児童館等を所管する子育て支援センター、交通安全指導員を所管する市民生活課、学校施設開放事業を所管するスポーツ振興課などのほか、学校を通じて千歳っ子見守り隊に連絡を行っており、必要な関係者には、確実に情報提供できる体制を整備している。



市内道路の整備

問 以下5点について伺う。①令和4年度の整備計画上の整備状況および切削オーバーレイ、パッチング方式による整備の状況、②市内の国道・道道の整備に関する要望の状況、③今年度あらたに取り組む除雪に関する事項、④

LINEアプリで使用している地図の改善、⑤来年度以降の使用できなくなる流通業務団地にかわる雪堆積場の検討状況。

答 市長 ①令和4年度までの修繕計画上の進捗率は、幹線・補助幹線道路で約13%、生活道路で約11%となっている。切削オーバーレイによる整備は「面的」な補修が必要であった約1.7kmを実施し、パッチング方式による補修は「局所的」な補修を行うもので、幹線道路を中心に実施している。②毎年、国道36号の交通安全対策や電線類の地中

化、道道泉沢新千歳空港線の延伸や4車線化などを要望している。③昨年度に引き続き、交差点付近の雪山対策や早めの排雪に取り組むとともに、今年度は、幅員が狭いバス路線においてこまめな対応を行う。④12月の公開に向け、システムを構築中であり、委託業者と打ち合わせをしている。⑤流通業務団地の代替地は現在、検討を進めているところである。市は、災害級の大雪に備え、市民生活に支障とならないよう除雪体制の充実とともに雪堆積場の確保についてもよく検討していく。

問 第7期総合計画の目指す都市像

答 市長 本市への立地意向を確認するため、国内企業約4000社を対象とした「半導体関連産業集積調査」に着

手しており、この結果を分析し、今後の市政運営の方向性などを「(仮称)将来ビジョン」によって示していく。今後ラピダス社の立地に伴い、本市への半導体関連企業の集積が進み、従業員の増加による住宅地の需要の高まりが想定されることから、適切に対応を進めるとともに、新たな工業団地については「半導体関連産業集積調査」の結果なども踏まえ、必要な取り組みをスピード感をもって進めていく。また、引き続き、市街化区域への編入についても検討していく。



消防行政・
組織体制の考え方

問 ①千歳市消防整備計画において「災害や危険から暮らしを守る街」の実現に向け、さまざまな課題を解決しながら消防力の強化が必要となっているが、課題解決のための具体的な取組状況について伺う。②千歳市は数年後、大手

企業それに関係する企業の進出により、人口増加が予想され、また、本市を訪れる観光客の増加も考えられる。市民の生命・身体・財産を守る使命を持つている千歳市消防として、先行性を発揮して、人員や装備を増やすべきと思うが、所見を伺う。

答 消防長 ①職員の人材育成は、北海道消防学校や消防大学校への入校のほか、消防に関する各種資格取得の研修等の派遣により、専門的な知識の習得や技能向上を図るとともに、日々訓練を重ねるなど、体制強化に取り組んでい

る。②千歳市消防整備計画の推進にあたり、消防整備計画推進委員会を設け、消防力の整備が適切に図られるよう取り組みを進めている。今後、市民の生命、身体および財産を確実に守る消防力および体制の整備に向け、より一層緊張感と使命感をもって取り組んでいく。

小中学校における
ヘルメット着用の対応

問 ①本年4月から自転車に乗る際、ヘルメット着用が努力義務となったが、以下4点について伺う。①小中

学校並びに生徒に対しての指導、また、保護者への連絡やお願ひ、②ヘルメット購入の助成金等の施策、③生徒のヘルメット着用率の現状、④子どもたちの生命・身体を守るためにも重要事項と考えるが、教育委員会としての今後の対応。

答 教育長 ①各学校には、北海道教育委員会や北海道警察からの資料提供などを行っているほか、小学校では、市が実施する交通安全教室において、発達段階に応じた指導を行い、中学校では、自転車通学の生徒に対し、マナーや

ヘルメット着用の指導に努めている。保護者には、学校だよりなどを通じてヘルメット着用の大切さをお願いしている。②指導・啓発の充実が重要であると考えているが、購入の助成は、市全体として総合的に判断されるものと考えており、今後の推移を見守っていく。③ヘルメット着用率の調査は行っていないが、学年が上がるにつれて減少していく傾向がある。④今後もヘルメット着用の啓発などを充実し、引き続き、各校と連携し、児童生徒の交通安全意識の醸成に努めていく。



東千歳地区における
学童クラブの事業化

問 学童クラブについて伺う。市街地の学校には、学童クラブ事業があるが、東千歳地域にはその制度がない。市内から20キロ以上離れた農業地帯であることから、仕事柄、家族労働であり、また農業も昨今の人手不足は深刻

な問題である。担当課もその意を汲み、事業化への検討を進めているとのことだが、学童クラブの事業化は可能なのか、可能だとしたらいつ頃をめどとしているのか伺う。ぜひ事業化していただきたく要望する。

答 市長 現在、東千歳地区の保護者の方々から、児童の放課後の居場所を自ら運営することに對し、市からの支援について要望されている。地域での調査によると、東小学校教育のうち、25名が利用することから、令和6年4月か

協和地区産廃施設
への対応

らの開設に向け、費用負担や施設の利用方法などについて、父母会と協議を重ねているところである。

問 産業廃棄物処理施設を計画している事業者は、地元

の理解や住民からの同意を得ずに、北海道に事業計画書を提出するなど、北海道の条例や要領を守らずに手続きを進めている。東千歳地域は、これまでも産廃施設や砂利問題で大変な思いをしてきた地域であることから、地

域が一体となって、協和地区への産業廃棄物最終処分場の建設に断固反対しているが、市の対応について所見を伺う。

答 市長 私は、7月18日に東千歳四連合会から建設に反対する旨の要望を受けた際に、建設予定地を視察し、地域の方々からの声を直接伺ったところである。また、この地域は本市の重要な農業地域であるが、これまでも産業廃棄物処理施設の撤退に伴う後処理問題や、砂利の乱掘による農地の水枯れなどの諸問題が生じた地域で

あり、多くの方が強い関心をもっているにも関わらず、事業者が居住者の同意や地域住民の理解を得ずに事業計画を進めていることについては、不誠実であると考えており、大変遺憾である。今後も引き続き、地域住民の声によく耳を傾け、周辺地域に及ぼす影響や課題などを把握し、地域の意見をしっかりと受け止め、対応していく。

その他質問
・予算編成方針について

決算特別委員会

質疑

質疑委員

令和4年度一般会計決算、6特別会計決算および3事業会計決算の審査をするため、議長および副議長と監査委員を除く20人の委員で構成する「決算特別委員会」を設置しました。

この特別委員会では、10月5日から10月12日までの期間に、付託案件に対する質疑を行いました。

審査の結果は、第3回定例会の最終日に報告され、全て認定となりました。

ここでは、9人の委員が行った質疑の一部を掲載します。

☆日本共産党

・吉谷 徹 委員

☆無所属

・北山 敬太 委員

☆自民党議員会

・松倉 美加 委員
 ・古川 昌俊 委員
 ・山崎 昌則 委員
 ・大山 益巳 委員
 ・安部 優雅 委員

☆公明党議員団

・今野 正恵 委員
 ・宮原 伸哉 委員

質疑の様子は、市HPからご覧いただけます。



日本共産党
吉谷 徹 委員

給食関連各費用

問 これまで私や他の議員が給食費の無償化について問いただしてきたが、決算でも結果的に余力があり、財政力指数で言えば道内でも上位、使える財源は余裕のある千歳市となっていることを踏まえると、給食費無償化にかかる費用の捻出は可能と思うが、これまで結局やってきていない。改めて、市が給食費の無償化をできない理由があれば示していただきたい。

答 教育部長 学校給食法において「学校給食の実施に必要な施設及び設備に要する経費、並びに運営に要する人件費及び施設設備の修繕費は設置者である市が負担し、その他の経費は、学校給食を受ける児童生徒の保護者の負担とする」と定められており、本市も法に基づく経費負担により運営を行っている。次に、学校給食費の負担に配慮が必要な家庭には、教育扶助費や就学援助制度など、学校給食費が負担にならないよう援助を行っている。学校給食費を無償化するためには、5億円を超える財源を安定的かつ恒久的に確保し続けなければならないことから、このことを合わせて考慮すると、学校給食費の無償化を実施することは非常に難しいものと考えている。



無所属
北山 敬太 委員

道の駅管理運営事業費

問 道の駅は、以前の指定管理者の不作為によって今春の引き継ぎが滞り、結果として5か月間もの休業期間が生じた。しかし、市のモニタリング評価の中で、その発生理由や期末、再発防止への取り組みについて一言も言及せず、管理運営は良好としている。実態を正しく評価していないと思われるが、市の見解を伺う。

答 観光スポーツ部長 道の駅のモニタリング結果は、指定管理者による公の施設の管理に関し、条例や協定等に従い適切かつ確実なサービスが提供されているかを確認するため、指定管理者モニタリング指針に基づき、報告書を作成し、議会への報告や市民周知を行っている。令和4年度の報告書には、一般的な管理運営状況等の所定の評価項目について、指針に基づき記載したほか、総合コメント欄に、指定管理者が各テナントとの間で締結していた契約において、契約期間満了の通知が遅れたことについても記載したところであるが、今後においては、指定管理者の管理運営が、より適切に行われるよう、今回のような特殊な事案が生じた場合は、モニタリング結果によりわかりやすく、丁寧に記載していく。



自民党議員会
松倉 美加
委員

地域公共交通利用促進事業費

問 空港を抱える本市において、また市民の足として、バスやタクシーなど、公共交通の確保は欠かせない施策である。人手不足により減便やタクシー不足が続いている。さっぽろ連携中核都市圏協議会でも、人手不足が課題に挙げられ、広域連携の視点で検討されているが抜本的な解決方法がない。地元での公共交通活性化協議会を中心とした対応が重要であるが、どのような対策が見いだされているのか伺う。

答 企画部長 地域公共交通活性化協議会では、路線バスの利用状況や利用促進策の協議、運転手不足に伴う減便運行に関する現状を報告したところである。運転手不足対策として、各交通事業者は、ハローワーク等への求人情報の掲載や大型2種免許取得費用の支援、自衛隊退官者の募集など、運転手の確保に取り組んでいる。市は、ホームページやSNSでバス運転手合同採用説明会の周知などのほか、自動運転やAIを活用したオンデマンド交通の視察を行い、自動運転等の実証実験に向け、調査・研究を進めている。今後、運転手不足に対応する自動運転やAIを活用したオンデマンド交通など、新たな交通システム導入に向け、取り組みを進めていく。



自民党議員会
古川 昌俊
委員

観光スポーツ連携事業費

問 千歳市スポーツ合宿・大会誘致等協議会が①平成27年設立以来の成果と取り組み、②今後の陸上競技場・駐車場などの施設整備について伺う。③協議会の決算書では、千歳サーモンマラニックへの支出は50%を占めている。マラニックは観光主体の事業であり、協議会は、日本陸連代表チームなどと市民との交流企画に、予算を充てるべきと考えるが、所見を伺う。

答 観光スポーツ部長 ①陸上競技を中心に実業団等の選手や関係者が合宿を行っており、順調に推移しているほか、令和4年10月には、これまでの合宿実績などが認められ、青葉陸上競技場がJOC認定競技別強化センターに認定されるなどの成果に至っている。②陸上競技場においては、老朽化やリニューアル改正等により更新が必要な施設や備品について、計画的に整備を進めている。駐車場については、第2駐車場や多目的広場等への誘導のほか、公共交通機関の利用、乗り合いでの来場をお願いするなど、混雑緩和に努めている。③選手との交流機会は、相手方の都合や意向が重要となり、予算的には既存予算でも対応が可能であるので、今後も引き続き、相手方と相談しながら交流機会の創出に努めていく。



自民党議員会
山崎 昌則
委員

防犯灯LED化促進事業費

問 防犯灯LED化促進事業は、令和4年度まで延長され、現在99%の町内会が交換したが、①電気料金はどの程度削減されたか、②そして残り1%の町内会についても補助制度を継続すべきと考えるが、所見を伺う。③LED灯に交換し、はや11年が経過しており、更新時期を迎えるが、更新時にも1割負担の補助制度を適用すべきと考えるが、所見を伺う。

答 建設部長 ①平成25年度から令和4年度まで10年間の電気料金の実績と、すべての防犯灯がLED化されていないと想定した場合の電気料金の推計値を比較したところ、10年間で約4億4900万円の削減効果があったものと考えている。②今後、各町内会から更新などの要望があった際には、千歳市防犯灯設置工事費交付金交付要綱に基づき、引き続き、対応していく。③防犯灯の設置や更新に際しては、防犯灯設置工事費交付金交付要綱により、新設が8割、更新が9割などの交付金を交付することとしており、現在、この要綱を改正する予定はないので、今後もこのまま継続するものと考えている。その他質問

・青葉公園整備事業費など



自民党議員会
大山 益巳
委員

公営住宅長寿命化型改善等事業費

問 ①第2期公営住宅等長寿命化計画期間内での建て替え、移転、集約などの対象となっている東雲団地の一部富丘団地、祝梅団地のスケジュールについて伺う。②昨今の千歳市における住宅需要、土地価格の上昇、ラピダス社の工場進出を鑑みると、ますます住宅地の不足が進むと考えるが、事業を早期に着手し、土地の有効活用を図るべきと考えるが、所見を伺う。

答 建設部長 ①東雲団地の解体は令和8年度、富丘団地の建て替えや除却などは令和8年度から14年度、祝梅団地の集約や除却などは令和13年度、14年度を予定している。②昨今の地価の高騰や住宅地の不足などの住宅事情は、今後人口増加を目指す本市のまちづくりにとって重要な課題と受け止めている。そこで、計画期間内に予定している市営住宅の建て替えや移転、集約に関する事業の早期着手を目指し、入居者の移転に関する意向調査や住民説明などを丁寧に進めるとともに、整備計画の策定や財源の確保を進め、円滑な事業の推進に努めていく。また、将来的に公共的な利活用の計画がないと判断した市有地については、民間への売却など、速やかに有効活用を図っていく。



自民党議員会
安部 優雅
委員

ふるさと納税推進事業費

問 ふるさと納税のルール改定への対応策として、本市でも昨年からの取り入れられている旅先納税は、ホームページが昨年10月から更新されていない。そこも含めて、今後、旅先納税の取り組みの強化や加盟店を増やすための取り組みは、どのようなことを行っていくのか。

答 企画部長 本年1月に、国から、旅先納税等の新たな基準が設けられる可能性がある旨、通知があったことから、旅先納税の普及に関する取り組みを一時休止していた。旅先納税に関する取り組みの強化や加盟店増加のための対策としては、本年9月に、市内事業者を対象として実施した千歳市ふるさと納税勉強会において、旅先納税の加盟店の募集を呼びかけたほか、委託事業者と連携しながら、導入を検討されている事業者を訪問し、加盟を呼びかけるなど、新たな加盟店の参入を積極的に呼びかけているところである。今後においては、新千歳空港を擁する本市の特性を生かし、旅先納税を含め、寄附者が実際に本市に足を運び、まちの魅力に触れていただけるような返礼品の充実に取り組んでいく。



公明党議員団
今野 正恵
委員

あなたの夢きかせてください
プロジェクト事業費

問 この事業は単年度での事業だが、このような子どもたちに焦点を当てた事業は、ぜひ今後も行っていたきたい事業である。今後さらに進化させたような企画を考えてはいかかかと思うが、今回の総括も含め、今後このような事業を行っていくなどの考えがあるか所見を伺う。

答 企画部長 たくさん応募をいただき、「夢」などの思いのほか、「マスクなしで遊びたい」など、子どもたちがコロナによる行動制限から解放されたいという思いの作品も多く見受けられたのも印象的であったが、表彰を受けた児童生徒から、受賞時の笑顔を見られたことや、今後の夢の実現に向けての意気込みなどを聞いたことは、非常に有意義な取り組みであったと感じている。この事業は、「コロナ禍での行動制限や行事の中止等、影響を受けている子どもたちに、将来の夢を語ってもらうこと」を目的に単年度で、実施したものであり、現在は、活動制限も大幅に解除され、当初の目的は達成できたものと考えている。今後は、まちの未来を担う子どもたちが、安心して安全に、生き生きと学び、日常生活が過ごせるよう、総合計画に掲げる各施策を着実に進めていく。



公明党議員団
宮原 伸哉
委員

有害鳥獣等駆除事業費

問 シカ対策について、予算時に向陽台の沢沿い地域を中心に、多くの悪影響があることをお伝えした。決算書では、令和4年度のシカ捕獲数は前年度比較で4頭の微増ではあるが、各種取組は、数字には表しづらい成果もあると考える。各種シカ対策を行った成果、特に支笏湖地域で実施している「大型囲いわな」による捕獲は特別な取り組みであることから、それらの実績について伺う。

答 産業振興部長 令和4年度における市が実施する支笏湖地域での捕獲数は39頭となったが、これに加えて、支笏湖地区の国有林を所管する石狩森林管理署が、藤の沢地区において「大型囲いわな」による捕獲事業を実施し、46頭の捕獲実績となっている。また、石狩振興局においても、水明郷地区において「大型囲いわな」による捕獲事業を実施し、14頭の捕獲実績があり、支笏湖地区での捕獲数は、あわせて99頭となったところである。今後もエゾシカによる被害を防止するため、市や協議会によるエゾシカの捕獲事業を継続するとともに、森林管理署や石狩振興局によるエゾシカの捕獲事業についても、継続を求めていく。

～セーフティーコールに参加しました～



ANAクラウンプラザホテル
千歳前付近の中央大通り



令和5年9月25日(月)、千歳市議会議員で組織する「千歳市議会議員会」は、交通事故のない、安全で安心な社会の実現を願い、警察署ほか市内全関係団体の参加による「スピードダウン」「シートベルト着用」等の旗を掲げ、通行車両に対し交通安全を呼びかける「セーフティーコール」に参加しました。

第3回定例会 主な議決結果概要・議案の賛否

件名・議案賛否・議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	付託した委員会	議決結果	
	安部 優雅	渡部 謙太郎	北原 偉男	岩満 順郎	丸岡 伸幸	吉谷 徹	落野 章一	飯田 盛好	大山 益巳	山口 康弘	松倉 美加	北山 敬太	松隈 早織	相沢 晶子	坂野 智	五十嵐 桂一	山崎 昌則	佐々木 雅宏	古川 昌俊	今野 正恵	平川 美由紀	仲山 正人	宮原 伸哉			
認定第1号 令和5年度千歳市一般会計補正予算について(第4回)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	決算特別	認定
認定第2号 令和4年度千歳市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	決算特別	認定
認定第3号 令和4年度千歳市土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	決算特別	認定
認定第4号 令和4年度千歳市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	決算特別	認定
認定第5号 令和4年度千歳市霊園事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	決算特別	認定
認定第6号 令和4年度千歳市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	決算特別	認定
認定第7号 令和4年度千歳市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	決算特別	認定
認定第8号 令和4年度千歳市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	決算特別	認定
認定第9号 令和4年度千歳市下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	決算特別	認定
認定第10号 令和4年度千歳市病院事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	決算特別	認定
議案第1号 令和5年度千歳市一般会計補正予算について(第5回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	補正予算特別	原案可決
議案第2号 令和5年度千歳市介護保険特別会計補正予算について(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	補正予算特別	原案可決
議案第4号 千歳市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案第5号 住居表示の実施区域及び住居表示の方法について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	産業建設	原案可決
議案第6号 市道路線の認定及び変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	産業建設	原案可決
議案第7号 公立大学法人公立千歳科学技術大学定款の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案第8号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
意見案第1号 国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
意見案第2号 J R長都駅前への交番の設置を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
意見案第3号 特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
意見案第4号 千歳市協和地区における産業廃棄物最終処分場建設に反対する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決

※議案第3号「千歳市学校給食費条例の制定について」は継続審査としました。

議席番号「15」坂野智 議員(議長)が欠席していたため、

議員番号「16」五十嵐桂一 議員(副議長)が議長を務めたことから、賛否は「-」としています。

「○」=賛成
「×」=反対
「欠」=欠席

「市民の声を聴く会」を開催します

第11回市民の声を聴く会は、「ちとせの未来を語ろう!」をテーマに、ご意見や日ごろ思っていることなどについて、議員とのフリートークを予定しています。

今回も、学生を中心とした気軽に参加できる内容としますので、みなさんのご参加をお待ちしています。なお、申込方法など、詳細は次号(2月1日発行)に掲載します。写真は、前回のグループトークの様子です。



【テーマ】

ちとせの未来を語ろう!

【日時】

令和6年2月21日(水)
16時00分～(2時間程度)

【場所】

まちライブラリー@ちとせ
(JR千歳駅前東口 アルファ千歳ビル1階)

【問い合わせ】

千歳市議会事務局
電話：24-0773 または 24-0793
メール：gikaisomu@city.chitose.lg.jp

議会事務局からのお知らせ

★議会の予定

令和5年第4回定例会は、12月1日(金)に開会する予定です。正式な日程は、議会運営委員会の決定をホームページや市公式SNS、ポスターでお知らせします。

★ホームページのご案内

会議の出席状況や、議会だよりで掲載している以外の質問などもご覧になることができます。ぜひアクセスしてください。

★表紙を募集しています!

市議会だより(年4回:2・5・9・12月発行)の表紙を飾る写真や絵、イラスト等を募集しています。千歳の四季や季節の行事をイメージできるものがありましたら、ご応募をお待ちしています。

【問い合わせ】

千歳市議会事務局 総務課 調査係
TEL 0123-24-0791 (直通)
E-mail:gikaisomu@city.chitose.lg.jp

★点字・音声版市議会だより

目の不自由な方のために、市議会だよりの内容を点字・録音したものを作成しています。

希望される方は、点字図書室までお問い合わせください。



【問い合わせ】

千歳市総合福祉センター2階
点字図書室 TEL 0123-27-3921

編集後記

議会報編集委員を続けてきて、6年余りとなりました。ふと思うことは、どうしたらこの議会だよりを手にとって見てもらいやすくなるのかなという事です。「文字を大きくした方がいいのか」「写真等画像が多い方がいいのか」「ページ数を少なくする方がいいのか」「いつそスーパ-の特売のチラシみたいにした方がいいのか」：議会報編集委員会開催の度に悶々と思っております。

どうか、編集後記までご覧になった方は「議会だよりがこうなったらもっと見やすい」等の声がございましたら、ぜひお聞かせください。お待ちしております。よろしくお願いたします。

(編集副委員長 吉谷 徹)

議会報編集委員会

委員長 大山 益巳
副委員長 吉谷 徹
委員 安部 優雅
平川 美由紀
相沢 晶子

市議会だよりは、植物油インキを使用しています。